



RENAISSANCE OF AGRICULTURE IN YAMANASHI

やまなし農業ルネサンス 普及センターの活動報告

中北地域地産地消活性化セミナーを開催

「中北地域普及センター」

中北地域では農産物直売所が約55カ所ほどあり、生産者と消費者の交流や地産地消、農家の女性手作りの加工品販売が盛んに行われています。今まで以上に特色ある直売活動を進め、その活動を広く消費者に知ってもらうために「中北地域地産地消活性化セミナー」を開催しました。

講師として、直売所甲子園で初代チャンピオンに選ばれた、道の駅とよみ農産物直売所の駅長をお招きし、決勝戦しながらに活動内容をお話していただきました。また、地域食材を活かした加工品作りを積極的に行っている、農事組合法人「味の里はくしゅう」や「風土記の丘農産物直売所」の味菜工房の新商品試食会や事例発表を行いました。

生産者や消費者を併せて約90名の出席者は熱心に受講され、どのような考えや視点でこれからの直売活動を行うかなど活発な意見が交わされました。

今後も直売活動をはじめとする地産地消の推進に向けて支援をしていきます。



地産地消



●現地実証の調査

農地や水などの環境を守る 営農活動の推進

「峡東地域普及センター」



●現地検討会

峡東地域では、農地・水・環境保全向上営農活動補助金を活用し、環境負荷を軽減する農業への取組みが、4地区、約80haの農地で、もも、すももを中心に実践されています。峡東地域普及センターでは、市、JA、技術普及センターと連携して研修会や現地検討会を開催し、生産者に対して減農薬・減化学肥料生産への意識啓発や取組みの浸透を図ってきました。

今後も、このような活動に取り組む地域に対しては、病害虫防除や施肥管理などの栽培技術指導を行い、農地や水などの環境を守る営農活動の拡大を推進していきます。



茶の施肥体系の改善

「峡南地域普及センター」



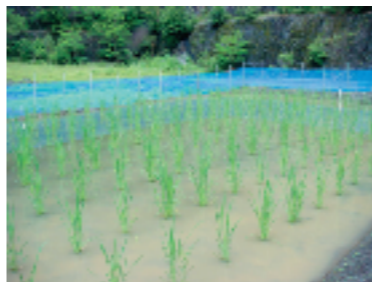
●検討会の様子



肥料名	肥料成分	施肥量(kg)	施用成分量(kg)		
			N	P	K
1.春肥(スハ-茶配春用)	12-6-6	120	14.4	7.2	7.2
2.芽出し肥(わかみどり)	20-4-8	80	16.0	3.2	6.4
3.夏肥Ⅰ(わかみどり)	20-4-8	60	12.0	2.4	4.8
4.夏肥Ⅱ(スハ-茶配春用)	12-6-6	60	7.2	3.6	3.6
5.秋肥Ⅰ(スハ-茶配秋用)	9-4-5	120	10.8	4.8	6.0
6.秋肥Ⅱ(スハ-茶配秋用)	9-4-5	100	9.0	4.0	5.0
合計			69.4	25.2	33.0

小菅村における地域特産品づくりへの取り組み

「富士・東部地域普及センター」



＜マコモダケの特長＞

マコモは、イネ科の多年草。マコモの若い茎が肥大化した部分がマコモダケ。タケノコのような食感と、ほのかな甘味が特長です。低カロリーで食物繊維が豊富なのでダイエットにお勧めです。中国では高級食材として用いられています。

小菅村では、今年度、住民有志と役場・普及センターが協力し、地域特産品として「マコモダケ」の試作に取り組みました。

「マコモ」は、草丈2mにもなるイネ科の植物で、黒穂菌の感染により、茎が長く伸びずに地際で肥大します。この部分を、「マコモダケ」として食用にします。

「マコモダケ」の栽培は、県内ではほとんど事例がなく、手探りの状態で始まりましたが、現地講習会や検討会の結果、6aで2,000本を収穫することができ、収穫イベント等を通して、村民が新たな特産品を味わいました。

小菅村では、今後さらに栽培面積を拡大する予定ですが、普及センターでは、引続き栽培技術の確立など、新たな特産品づくりを支援していきます。